

特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡

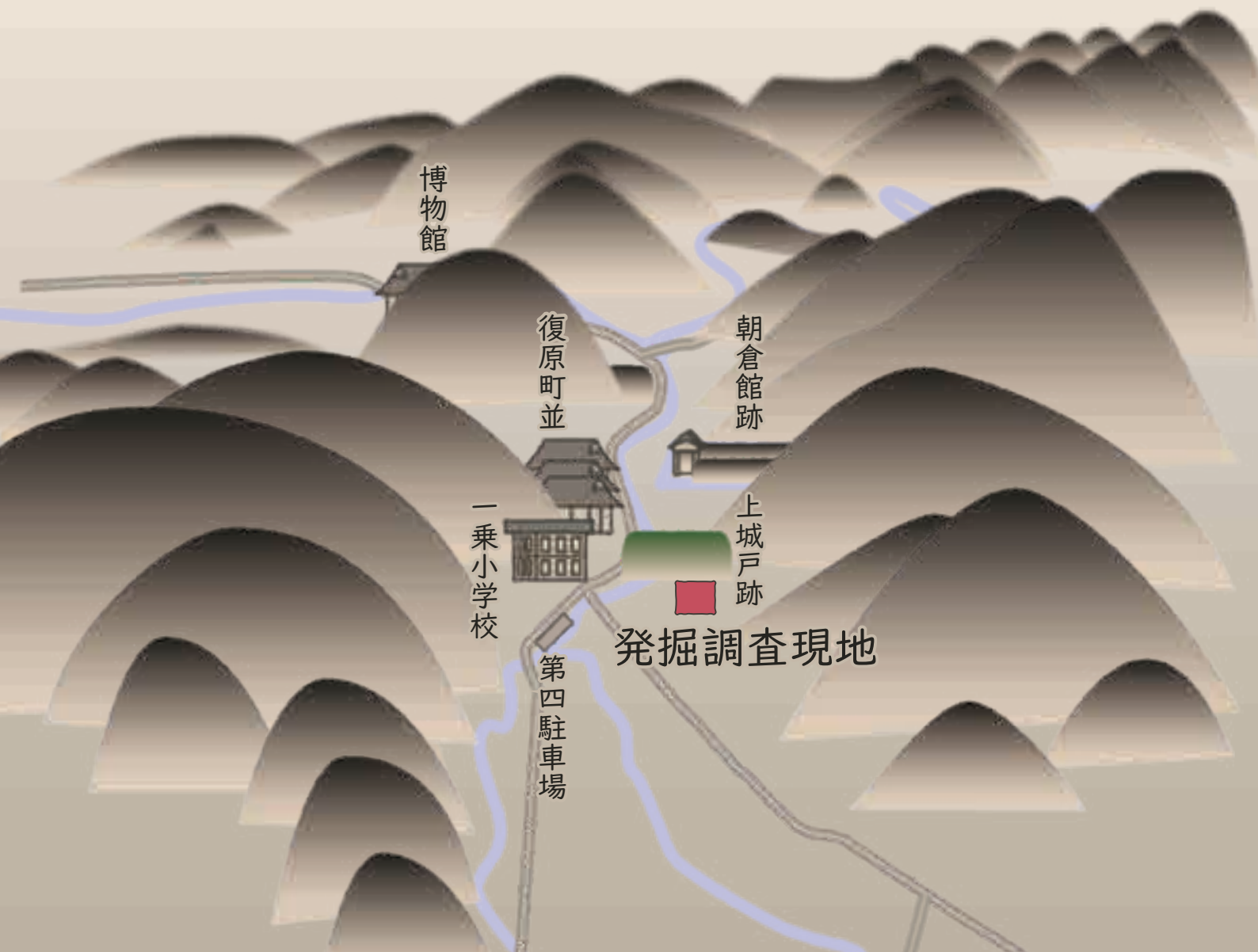
第157次発掘調査現地説明会

日時 令和7年10月11日（土）午前10:00～11:00

会場 一乗谷朝倉氏遺跡^{かみきど}上城戸跡^{あと}南側 発掘調査現地

主催 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館

※詳細は裏面または博物館ホームページをご覧ください。



一乗谷朝倉氏遺跡第157次発掘調査現地説明会

戦国大名朝倉氏の城下町、一乗谷では50年以上にわたって発掘調査を行ってきました。

今年度は、一乗谷を守る土塁^{かみきど}「上城戸跡」^{あと}のすぐ外側にあった武家屋敷地を調査し、石組井戸や上城戸と屋敷地の境、古い時期の土塁などを確認しました。

お問い合わせ先

住所：福井市安波賀中島町8-10 電話：0776-41-7700 メール：asakura@pref.fukui.lg.jp



博物館 HP



特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡

第157次発掘調査現地説明会

日時 令和7年10月11日（土）午前10:00～11:00

会場 一乗谷朝倉氏遺跡上城戸跡南側 発掘調査現地
福井市東新町 福井市一乗小学校対岸

ポイント① 上城戸跡の外側



城下町一乗谷を横切る防御施設「上城戸」。

谷の中心部を守るように位置する土塁と濠で、朝倉氏の時代はこちらが城下町の表でした。外側には重臣の屋敷や重要な施設があったようで、今に残る地名には、「小林谷」「青木」といった重臣の名前に由来するものや、足利義昭が滞在したことと知られる「御所」「安養寺」といったものがあります。

今回の発掘調査では、上城戸跡のすぐ外側を調査しました。



ポイント② 武家屋敷の施設

遺跡にある建物や施設の跡を「遺構」と呼びます。

今回は、昨年に引き続き土塁で区画された上級武家屋敷の内側を調査しました。石組みの井戸や上城戸の濠と屋敷地の境、古い時期の土塁などがみつかっています。



ポイント③ 戦国時代の遺物

昔の人が使った道具（遺物）も見つかりました。

土師質皿や越前焼播鉢などの日用品や、中国などから輸入した陶磁器、さいころなどが出土しました。これらは上級武家の暮らしをうかがい知るための貴重な資料です。当日は出土遺物の一部を会場で展示します。



対象 どなたでもご参加いただけます。

（中学生以下は保護者同伴）

参加方法 事前申し込み不要。当日、会場にお越しください。

参加費 無料

その他 お車で越しの方は、一乗谷朝倉氏遺跡第4駐車場をご利用ください。

会場は野外のため、足場が悪くなっております。

雨天中止（中止の場合、前日正午までに博物館ホームページ及びSNSで告知します）。



お問い合わせ先

住所：福井市安波賀中島町8-10 電話：0776-41-7700 メール：asakura@pref.fukui.lg.jp